

新緑ニュース

病院の理念

確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献〒226-0025 横浜市緑区十日市場1-7-26
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271

看護師特定行為研修制度について ～当院の特定看護師の活動～

看護部 副看護部長 新居田 敦子

医療の高度化や患者の高齢化が進む中、診療の現場では迅速で専門性の高い判断が求められるようになりました。こうした背景を受け、2015年に創設された「看護師特定行為研修制度」は、医師の包括的指示のもと高度な医療行為を看護師が安全に行えるようにする仕組みで、臨床推論や身体診察、薬剤の知識などを学びます。制度は在宅医療や地域医療の充実を背景に始まりましたが、医師の働き方改革や新興感染症への対応など、現場のニーズに合わせて役割が広がっています。

当院では、こうした状況を踏まえ、特定看護師を計画的に育成してきました。研修では臨床推論や薬剤の知識を学び、医師の診断や治療の考え方を理解する力を養います。修了後は指導者とともに患者を担当しながら判断力を磨く移行期を設け、段階的に実践力を高めています。こうした育成の結果、現在当院には特定行為研修修了者が11名在籍し、各部署で専門性を発揮しています。

修了者は研修で得た知識と現場経験を基盤に、状態変化を捉えて高度な判断を行い、医師との連携を強化して、チーム医療の中で重要な役割を担っています。

特に成果が見られるのが、点滴や薬剤投与のための「静脈ルートの管理」です。一般的な腕の点滴（末梢静脈）は、血管が細い場合や刺激の強い薬剤で痛みや腫れが起こりやすく、刺し替えが必要になること

があります。

こうした負担を減らす方法として「PICC（ピック）」というカテーテルがあります。腕の静脈から細い管を入れて心臓近くまで到達させる方法で、太い静脈に留置されるため血管障害が起こりにくく、長期間の治療を安全に続けられます。高齢の方や血管が細い方でも挿入しやすく、従来の中心静脈カテーテルより負担が少ない点も特徴です。

PICC 挿入は本来医師のみが行える医療行為でしたが、特定行為研修制度により、研修修了看護師が医師の指示のもと実施できるようになりました。当院の特定看護師は、患者さんの状態や薬剤の性質を踏まえ、末梢で続けられるか、より安全な方法に切り替えるべきかを判断し、必要なタイミングでPICC 挿入を行っています。2023年からは看護師による当番制PICC 挿入を開始し、依頼当日に対応できる体制を整えました。これにより治療の遅れを防ぎ、医師の業務負担軽減にもつながっています。

当院は今後も特定看護師の育成と継続教育を進め、看護の質と安全性を高めながら、医師との協働によるチーム医療をさらに発展させてまいります。



イベント開催

「緑すこやか健康講座」を開催します

この度、「緑すこやか健康講座」を11月7日（土）に開催します。

今回のテーマは、「地域で支える命と健康」。予防・救急・治療・地域包括ケア、それぞれの立場から医療の役割をわかりやすくお話しします。後半のパネルディスカッションでは、病院や救急隊、地域の関係機関がどのように役割を分担し、連携しながら、地域の皆さまの健康と暮らしを支えているのかを一緒に考えます。

開催時間や会場、参加方法などの詳細は、次号にて改めてご案内します。ぜひ楽しみにお待ちください。

当院の放射線科には、放射線科専門医が常勤1名・非常勤9名、診療放射線技師が18名、事務が3名在籍しています。CTやMRIなどの高度医療機器を完備し、迅速かつ正確な画像診断を通じて地域の皆さまの健康を支えています。

当院は24時間365日のサポート体制で、一刻を争う救急医療の現場に迅速に対応しています。近隣医療機関からの検査依頼に対しても、状況に応じてできる限りの当日検査や迅速な結果報告に努めており、的確な読影レポートを速やかにお届けできるよう連携を図っています。

私たちが最も大切にしているのは、患者さまに安心・安全な検査を受けていただくことです。不安を和らげるやさしい声かけと対話を心がけています。当科には9名の女性スタッフが在籍しており、緊張や不安を感じやすい患者さまのお気持ちに寄り添ったきめ細やかな対応を実践しています。女性の方もどうぞリラックスして受診してください。

スタッフ一同、機器点検や被ばく線量の適正管理、撮影技術の向上に日々励んでいます。他職種とも密に連携し、質の高い診療をサポートいたします。常に思いやりの心と丁寧な対応を大切にし、皆さまに信頼される温かい放射線科を目指します。



就 任

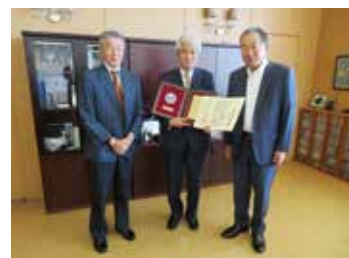
長島悟郎院長、聖マリアンナ医科大学名誉教授就任

このたび、長島悟郎院長が聖マリアンナ医科大学 名誉教授に就任しました。「名誉教授という称号は、これから先も自分についてまわるもの。その重みを感じ、これまで以上に自分を律していかなければならないと感じています」

今後は、地域の医療機関や救急関係機関との連携をさらに深めるとともに、災害時を見据えた医療提供体制の構築にも力を入れていきます。また、健康講座や小学生向け医療体験などを通じ、日頃は見えにくい病院の医療や医療技術を地域の皆さまに知っていただく活動も進めていきます。

聖マリアンナ医科大学の「Love for Others, Dignity of Life」の精神と、当院の「確かな医療技術・やさしい対応・地域への貢献」を大切に、地域に必要とされる病院づくりを進めてまいります。

詳しくは右側のQRコードからご覧ください。



▲真ん中長島院長



イベント

夏休み医療体験イベント

横浜市主催のお仕事体験企画で、8月2日（日）に「働こう！しみどり病院で！」を開催いたしました。小学1年生から6年生までの児童54人が参加しました。

体験コースは医師・看護師コース、薬剤師・栄養士コース、リハビリ職（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）コース、人間ドック（放射線技師・臨床検査技師）コースの4つに分かれて体験してもらいました。

医療職に興味を持つ未来の仲間や、「将来は医師になりたい」という頼もしい子どもたちからは、「楽しかった」「親切で分かりやすかった」「来年も参加したい」といった嬉しい声が多数寄せられ、職員一同、大きな喜びとやりがいを感じる機会となりました。



WEB 版みんなの健康講座 ※オンライン配信

病気や健康に関する情報を発信しています。Web 版みんなの健康講座はホームページ、スマートフォン(QRコード)からいつでもご視聴いただけます。



発行
地域医療
連携室